

(別紙6)

## 富山県における認定鳥獣捕獲等事業者等の育成に係る評価報告

### 1 認定鳥獣捕獲等事業者等の現状や課題等

富山県における認定鳥獣捕獲等事業者の認定件数は0件であり、認定鳥獣捕獲等事業者と同等以上と認められるものとして、一般社団法人富山県猟友会に委託し指定管理鳥獣捕獲等事業を行っている。また、平成以前はイノシシ・ニホンジカともに生息が確認されていなかったこともあり、猟友会の中でもイノシシ・ニホンジカの捕獲技術を持つものは多くなかった。

そのような中、認定を目指す法人の捕獲従事者に対し、H28年度からOJT方式による効率的捕獲の手法や地域に普及していない新技術等の捕獲研修を行っており、令和3年度までに45名が研修を修了している。

現在、その研修生と地元のベテランハンターとの合同チームである、富山県捕獲専門チームにより指定管理鳥獣捕獲等事業に取り組んでいるが、指定管理鳥獣の捕獲技術や手法を県下全体の狩猟者に普及できるようにしていく必要がある。

### 2 1の課題等に対応するため、本事業で実施した取組内容

各捕獲専門チームの隊員に対し、効率的な捕獲の手法や地域に十分定着していない新技術等の研修を、各チームの現場を主体にシーズン初め、夏場、わな猟終了期の3回に分けて、計23回実施し、延べ153名が参加した。

注：実施した研修会等の内容及び参加人数等を記入すること。

### 3 2の取組に対する評価と今後の課題等

今回研修を受けたチームの隊員は、各地域で有害捕獲、狩猟も実施しており、効果的な捕獲の手法、新技術等が各地域で隊員ではない狩猟者にも普及していくことが期待される。

今後は、引き続き、県下全体の狩猟者に普及できるようにしていく必要があるとともに、先進地の取組みを参考にすることで、狩猟者のさらなる技術の向上、省力化につながる手法などを検討し、継続的な取組みにつなげる必要がある。

注：1の課題等も踏まえ、取組の評価を具体的に記入すること。

また、評価を通じ明らかになった今後の課題等についても記入すること。

### 4 その他

注：特記すべき事項があれば記入すること。